

九州歯科大学歯学部口腔保健学科の卒業コンピテンシー

1. 全人的歯科医療人としての素養

九州歯科大学歯学部口腔保健学科学生は、卒業時に豊かな教養、人間性、学識を有し、全人的理解に基づいた保健・医療・福祉活動ができる基礎的能力を備えている。

卒業生は以下の内容を修得していなければならない。

1. 全人的歯科医療人として共通に持つべき教養を身につける。
2. 信頼関係を確立するために、コミュニケーションの重要性を理解する。
3. クライアントの立場に立って最善の歯科保健・医療を提供するために必要な医療面接の基本的な態度、知識および技能を身につける。
4. 歯科衛生士法および関連法規の基本的な考え方を理解する。
5. 保健、医療、福祉、介護に関連する社会制度、地域医療および社会環境を理解する。
6. 環境と健康との関わりを理解する。
7. 社会の変化に対応して、歯科衛生士としてのキャリアを継続させる生涯学習者としての基本姿勢を身につける。

2. プロフェッショナリズム

九州歯科大学歯学部口腔保健学科学生は、卒業時に歯科衛生士が専門職として果たすべき責任と義務に関する専門的知識・態度および考え方を備えている。

卒業生は以下の内容を修得していなければならない。

1. クライアント本位の姿勢を身に付ける。
2. インフォームドコンセント、インフォームドアセントを理解する。
3. クライアントの権利及び義務を熟知し、その現状と問題点を理解する。
4. 歯科衛生士としての倫理観および基本的価値観を身につける。

3. 口腔保健学の知識

九州歯科大学歯学部口腔保健学科学生は、卒業時に歯科衛生士として求められる歯科医学および歯科衛生学の基礎知識を備えている。

卒業生は以下の内容を修得していなければならない。

1. 歯科保健・医療および福祉・介護における安全性への配慮と危機管理を理解する。
2. 健康の概念、健康と社会・環境、予防と健康管理、疫学・保健医療統計を理解する。
3. 生命の分子的基盤、人体の構造と機能、感染と免疫、病因と病態、生体と薬物を理解する。
4. 素材と器械・器具の所要性質、成形法と成形用材料を理解する。
5. 診療の基本、口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患、歯と歯周組織の常態と疾患、ならびにそれらの歯科医療への展開を理解する。
6. 福祉・介護領域における歯科保健・医療の役割を理解する。
7. 歯科衛生学を理解する。
 - 7-1. 歯科衛生の専門性を理解する。
 - 7-2. 歯科衛生活動のクライアントと領域を理解する。

4. 科学的根拠に基づく口腔保健の実践

九州歯科大学歯学部口腔保健学科学生は、卒業時に科学的根拠に基づいた口腔保健を実践する方法論を身につけている。

卒業生は以下の内容を修得していなければならない。

1. 科学的根拠に基づいた口腔保健の実践についての考え方および重要性を理解する。
2. 口腔保健の実践に必要な科学的情報を適切に収集・解釈する能力を身につける。
3. 確率論的なものの見方を理解し、確率変数とその分布、統計的推測を理解する。
4. 科学的根拠に基づいた口腔保健活動の成果を適切に評価する態度を身につける。

5. 全ての世代に対する幅広い歯科衛生活動

九州歯科大学歯学部口腔保健学科学学生は、卒業時に全ての世代に対する全身の健康とQOLの向上という視点に立った歯科衛生活動ができる基礎的実践能力を備えている。

卒業生は以下の内容を修得していなければならない。

I. 歯科衛生活動の基盤

1. 情報を聴取し、クライアントと良好な信頼関係を築くための知識、技能および態度を修得する。
2. 感染を予防し安全な歯科衛生活動を実践するための知識、技能および態度を修得する。
3. クライアントの全身状態を把握するための知識、技能および態度を修得する。
4. 歯科衛生過程を理解し、専門性の高い歯科衛生活動を実践する基礎的能力を修得する。

II. 歯科診療の補助

5. 全ての世代に応じた歯科診療補助において必要な知識、技能および態度を修得する。
6. 歯科診療の内容に応じた患者指導において必要な知識、技術および態度を修得する。
7. 周術期から回復期・維持期の適切な口腔保健管理に必要な知識、技能および態度を修得する。
8. 全ての世代に対する歯科保健・医療に必要な薬剤の基本的知識を修得する。

III. 歯科予防処置

9. う蝕予防を安全に行うため、フッ化物塗布において必要な基本的知識、技能および態度を修得する。
10. 幼若永久歯小窩裂溝部における予防填塞に必要な基本的知識、技能および態度を修得する。
11. 歯周組織の健康の保持増進のために必要な基本的知識、技能および態度を修得する。

IV. 歯科保健指導

12. 全ての世代に対する歯科保健指導および食生活指導の知識、技術および態度を修得する。
 - 12-1. 個人および集団を対象とした指導方法を修得する。
 - 12-2. 歯科疾患の予防を目的とした指導方法を修得する。
 - 12-3. 口腔機能の成長発達に応じた指導方法を修得する。
 - 12-4. 口腔機能の維持・回復を目的とした指導方法を修得する。

V. 労働衛生管理

13. 産業保健における労働衛生管理を行うために必要な知識を修得する。

6. 多職種連携の実践

九州歯科大学歯学部口腔保健学科学生は、卒業時に多職種とともに地域の保健・医療・福祉の分野で社会貢献できる基礎的能力が備わっている。

卒業生は以下の内容を修得していなければならない。

1. 患者中心のチーム医療ならびに他の医療従事者との連携の重要性を理解する。
2. 歯科診療を適切に行うために、地域医療、病診連携についての知識、技能および態度を修得する。
3. 保健・福祉・介護分野の専門職と協働するために他職種の役割を理解する。
4. 保健・福祉・介護分野における口腔保健を推進するための連携方法を理解する。

7. グローバルマインド

九州歯科大学歯学部口腔保健学科学生は、卒業時に国際的な視野に立って歯科衛生活動を行う基礎的能力を備えている。

卒業生は以下の内容を修得していなければならない。

1. 英語を用いて口腔保健に関する国際的な情報を収集・読解する能力を身につける。
2. 英語を用いてコミュニケーションをとることができる。

8. リサーチマインド

九州歯科大学歯学部口腔保健学科学生は、卒業時に問題の自己解決能力を有し、リサーチマインドを駆使して口腔保健学の発展に寄与する基礎的能力を備えている。

卒業生は以下の内容を修得していなければならない。

1. 保健・医療・福祉の研究成果について生涯を通じて学び、新しい知見を提供するリサーチマインドを身につける。
2. リサーチマインドを駆使して、生涯にわたり歯科保健医療の発展に貢献するための基本的態度を身につける